



2023年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年11月9日

上場会社名 株式会社FUJIIJAPAN
コード番号 1449 URL <https://www.fujijapan.net/>

上場取引所 札

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 佐々木 忠幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部部長 (氏名) 山内 将之

TEL 011-299-5361

四半期報告書提出予定日 2023年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の業績(2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|----------------|-------|-----|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年12月期第3四半期 | 1,088 | 8.7 | 3 | | 0 | | 0 | |
| 2022年12月期第3四半期 | 1,192 | 8.0 | 8 | | 5 | | 3 | |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|----------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年12月期第3四半期 | 0.36 | |
| 2022年12月期第3四半期 | 1.76 | |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|-----|-----|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年12月期第3四半期 | 807 | 332 | 41.1 |
| 2022年12月期 | 816 | 333 | 40.8 |

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 332百万円 2022年12月期 333百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年12月期 | | 0.00 | | 0.00 | 0.00 |
| 2023年12月期 | | 0.00 | | | |
| 2023年12月期(予想) | | | | 3.00 | 3.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|---|------|---|-------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,715 | 10.5 | 41 | | 42 | | 27 | | 13.02 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2023年12月期3Q | 2,130,000 株 | 2022年12月期 | 2,130,000 株 |
| 期末自己株式数 | 2023年12月期3Q | 株 | 2022年12月期 | 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2023年12月期3Q | 2,130,000 株 | 2022年12月期3Q | 2,130,000 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| 第3四半期累計期間 | 6 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が減衰するなかで、経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方でエネルギー・原材料価格の高騰や円安に伴う物価上昇、ロシア・ウクライナ情勢の長期化などもあり、依然として先行き不確実性の高い状況が続いております。

リフォーム業界におきましては、政府による住宅リフォームの支援等により消費者の関心が高まってきているものの、円安等による建築資材・物価高騰のなかでの消費者マインドの低下、経済の回復とともに人手不足は右肩上がりとなるなど引き続き厳しい事業環境が続いております。

このような経済環境の中、当社では、札幌支店の北ブロックと仙台支店・横浜支店・千葉支店の南ブロックに分け、この二本柱による営業展開を図り、前事業年度後半から引き続き粗利益率の向上にも努めてまいりました。また、地域に根差した採用と人材育成による営業力強化に注力した体制作りを継続するとともに、引き続きお客様対応時に感染症対策を慎重に行いながら営業活動を行ってまいりました。

しかしながら、原材料価格の高騰や大幅な物価高騰等による消費者マインド低下の影響は大変大きく、特に関東圏を中心に受注件数が伸びませんでした。

これらにより当第3四半期累計期間における売上高は1,088,626千円（前年同期比8.7%減）、営業損失は3,055千円（前年同期より4,982千円増）、経常利益は359千円（前年同期より5,387千円増）、四半期純損失は766千円（前年同期より2,974千円増）となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

(外壁リフォーム工事)

外壁リフォーム工事については、営業部において南ブロックの受注数が大幅に前年より減少したものの、全体の粗利益率の向上により、売上高は935,532千円（前年同期比6.4%減）、セグメント利益は85,245千円（前年同期比28.8%増）となりました。

地域ごとの売上高の内訳としては、北ブロック（北海道エリア1支店）569,961千円（前年同期比8.9%増）、南ブロック（東北エリア1支店、北関東エリア1支店、南関東エリア2支店）365,570千円（前年同期比23.2%減）となりました。

(その他リフォーム工事)

その他リフォーム工事については、個人向け工事の受注額が増加したことにより、売上高は104,285千円（前年同期比7.9%増）、セグメント利益は4,011千円（前年同期比25.7%増）となりました。

(材料販売)

材料販売については、受注数が前期から大幅に減少し、売上高は48,808千円（前年同期比49.8%減）、セグメント損失は474千円（前年同四半期はセグメント利益9,533千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は359,000千円となり、前事業年度末と比べ15,460千円増加いたしました。これは主に完成工事未収入金が78,997千円増加した一方で、現金及び預金が49,809千円減少、その他流動資産が13,924千円減少したことによるものであります。固定資産は448,660千円となり、前事業年度末と比べ24,428千円減少いたしました。これは主に有形固定資産が21,013千円、長期前払費用が4,341千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は807,660千円となり、前事業年度末と比べ8,968千円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は246,393千円となり、前事業年度末と比べ25,466千円増加いたしました。これは主に工事未払金が15,284千円増加、預り金が1,556千円増加、リース債務が4,605千円増加、その他流動負債が9,827千円増加した一方で、未払金が1,170千円減少、未払費用が3,155千円減少、損害賠償引当金が1,103千円減少したことによるものであります。固定負債は229,028千円となり、前事業年度末と比べ33,668千円減少いたしました。これは主に長期借入金が27,330千円減少、リース債務が5,493千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は475,422千円となり、前事業年度末と比べ8,202千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は332,238千円となり、前事業年度末と比べ766千円減少いたしました。これは四半期純損失766千円の計上により、利益剰余金が減少したためであります。

この結果、自己資本比率は41.1%（前事業年度末は40.8%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、「2022年12月期決算短信」における通期の業績予想から変更しておりません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績等は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2022年12月31日) | 当第3四半期会計期間 (2023年9月30日) |
|----------------|------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 83,389 | 33,580 |
| 完成工事未収入金及び契約資産 | 86,219 | 165,216 |
| 売掛金 | 4,838 | 6,975 |
| 製品 | 42,776 | 47,440 |
| 原材料及び貯蔵品 | 81,941 | 76,458 |
| 未成工事支出金 | 14,752 | 13,286 |
| 前払費用 | 10,493 | 10,840 |
| その他 | 19,127 | 5,202 |
| 流動資産合計 | 343,540 | 359,000 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 199,501 | 200,153 |
| 減価償却累計額 | △25,463 | △31,435 |
| 建物及び構築物（純額） | 174,038 | 168,717 |
| 機械装置及び運搬具 | 151,128 | 151,128 |
| 減価償却累計額 | △15,244 | △29,294 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 135,883 | 121,833 |
| 工具、器具及び備品 | 43,003 | 45,702 |
| 減価償却累計額 | △34,500 | △37,967 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 8,503 | 7,734 |
| リース資産 | 10,814 | 10,814 |
| 減価償却累計額 | △4,073 | △4,946 |
| リース資産（純額） | 6,740 | 5,867 |
| 土地 | 92,005 | 92,005 |
| 有形固定資産合計 | 417,171 | 396,158 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 9,774 | 9,331 |
| 保険積立金 | 10,891 | 12,252 |
| 長期前払費用 | 19,945 | 15,604 |
| 繰延税金資産 | 14,056 | 14,064 |
| その他 | 1,250 | 1,250 |
| 投資その他の資産合計 | 55,917 | 52,502 |
| 固定資産合計 | 473,089 | 448,660 |
| 資産合計 | 816,629 | 807,660 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2022年12月31日) | 当第3四半期会計期間 (2023年9月30日) |
|---------------|------------------------|----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 7,003 | 6,006 |
| 工事未払金 | 63,916 | 79,200 |
| 短期借入金 | 50,000 | 50,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 36,440 | 36,440 |
| リース債務 | 1,185 | 5,790 |
| 未払金 | 9,273 | 8,102 |
| 未払費用 | 36,319 | 33,164 |
| 未払法人税等 | 536 | 588 |
| 契約負債 | 7,210 | 7,648 |
| 預り金 | 2,445 | 4,002 |
| 完成工事補償引当金 | 4,970 | 5,100 |
| 損害賠償引当金 | 1,103 | — |
| その他 | 523 | 10,350 |
| 流動負債合計 | 220,927 | 246,393 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 232,480 | 205,150 |
| リース債務 | 5,493 | — |
| 預り敷金保証金 | 24,724 | 23,878 |
| 固定負債合計 | 262,697 | 229,028 |
| 負債合計 | 483,624 | 475,422 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 65,424 | 65,424 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 20,424 | 20,424 |
| 資本剰余金合計 | 20,424 | 20,424 |
| 利益剰余金 | | |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | 247,156 | 246,390 |
| 利益剰余金合計 | 247,156 | 246,390 |
| 株主資本合計 | 333,004 | 332,238 |
| 純資産合計 | 333,004 | 332,238 |
| 負債純資産合計 | 816,629 | 807,660 |

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日) | 当第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日) |
|---------------|---|---|
| 売上高 | | |
| 完成工事高 | 1,095,706 | 1,039,818 |
| 材料売上高 | 97,248 | 48,808 |
| 売上高合計 | 1,192,955 | 1,088,626 |
| 売上原価 | | |
| 完成工事原価 | 680,999 | 627,762 |
| 材料売上原価 | 81,040 | 40,665 |
| 売上原価合計 | 762,040 | 668,427 |
| 売上総利益 | 430,915 | 420,198 |
| 販売費及び一般管理費 | 438,952 | 423,253 |
| 営業損失(△) | △8,037 | △3,055 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 446 | 45 |
| 貸貸収入 | 2,569 | 2,569 |
| 受取保険金 | 1,040 | 2,813 |
| 債務免除益 | 999 | — |
| その他 | 517 | 627 |
| 営業外収益合計 | 5,573 | 6,055 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,164 | 2,221 |
| 貸貸収入原価 | 330 | 418 |
| その他 | 69 | — |
| 営業外費用合計 | 2,564 | 2,640 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △5,028 | 359 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 454 |
| 特別利益合計 | — | 454 |
| 特別損失 | | |
| 支店閉鎖損失 | — | 1,000 |
| 特別損失合計 | — | 1,000 |
| 税引前四半期純損失(△) | △5,028 | △185 |
| 法人税等 | △1,287 | 580 |
| 四半期純損失(△) | △3,740 | △766 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|-------------|------------|-------|
| 2022年2月10日 取締役会 | 普通株式 | 10,650 | 5.00 | 2021年12月31日 | 2022年3月30日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期損益計 算書計上額 (注) 2 |
|-------------------|-----------|------------|--------|-----------|--------------|--------------------------|
| | 外壁リフォーム工事 | その他リフォーム工事 | 材料販売 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 999,071 | 96,635 | 97,248 | 1,192,955 | — | 1,192,955 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 5,631 | — | — | 5,631 | △5,631 | — |
| 計 | 1,004,702 | 96,635 | 97,248 | 1,198,587 | △5,631 | 1,192,955 |
| セグメント利益 | 66,193 | 3,192 | 9,533 | 78,919 | △86,957 | △8,037 |

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△86,957千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期損益計 算書計上額 (注) 2 |
|---------------------|-----------|------------|--------|-----------|--------------|--------------------------|
| | 外壁リフォーム工事 | その他リフォーム工事 | 材料販売 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 935,532 | 104,285 | 48,808 | 1,088,626 | — | 1,088,626 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 4,849 | — | — | 4,849 | △4,849 | — |
| 計 | 940,382 | 104,285 | 48,808 | 1,093,476 | △4,849 | 1,088,626 |
| セグメント利益又はセグメント損失(△) | 85,245 | 4,011 | △474 | 88,782 | △91,837 | △3,055 |

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△91,837千円あります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。